



「かけ足記録会」を行いました。

12月3日(火)2~4限目を使い、きょうだい学年別(1・6年 2・5年 3・4年がペア)に「かけ足記録会」を行いました。「5分間でどれだけの距離を走れるのか」、子どもたちは業間かけ足や体育の授業で練習を積み重ねてきた最高距離を上回ろうと、一所懸命に走りました。保護者の皆様、地域の皆様には、寒い中ご参観いただき、子どもたちにとっては、大きな声援が大変励みになったことと思います。学年のなかまに、どんなに距離を離されても、いい加減な気持ちにならず、最後まで全力で5分間を走り切れたのが何より素晴らしかったです。結果はともあれ、「全力でやる」「一所懸命やる」姿は、人にとって尊いものだと思います。

途中、水沢こども園の年長さんと年中さんもが、子どもたちの走っている様子を見に来てくれました。「がんばれー、がんばれー」と声を切らず、声援を送ってくれている姿がとてうれしかったことと思います。また、1年生は、はじめての「かけ足記録会」で、「えいえいおー」と円陣を組んだり、異学年が走っているのを教室から窓を開けて応援している姿があり、とても微笑ましい光景でした。



「第4回さら推進委員会(CS)」が開催されました。

12月3日(火)夜「第4回さら推進委員会(CS)」が行われました。私からは、現在本校が大切にして取り組んでいる「非認知能力(好奇心、がんばる力、コミュニケーション能力、誠実さなど、数値で測りにくいとされている力)」について説明し、本校の子どもたちの様子について、写真や動画を交えて紹介しました。また、「令和6年度全国学力・学習状況調査、みえスタディ・チェック」の結果報告について、すでに発行している学校だより(ふれあい第25号)を使い、本校児童の特徴について分析を交えてお話をしました。情報伝達手段が急速に発達し、児童の中には、夜遅くまでタブレットやスマートホンを使いYou Tubeの動画を見たり、ゲームに興じたりしている子どもたちもいるようです。



委員の皆様からは、「自分たちが住みたいまちとなるように、さまざまな活動に小学生の頃から地域が取り込んで一緒に考えさせたい」「子どもたちが自由に考え、主体的に活動ができるような場を設定していくことが大切だと考える」「地区文化祭における物品販売なども子どもたちが考えてやれる場を設けられると良い」などの意見が出されました。また「学校全体が少人数になっていくことで、校外学習や修学旅行などのバス利用を今後どうしていくのが課題」「ICTの普及により、鉛筆で字を書くことが少なくなり、国語力の低下が心配」といった意見も出されました。委員の皆様から出された意見を受け、より良い学校運営ができるように、職員と意見を共有し、本校の教育実践に反映させていきたいと思っております。ありがとうございました。

2学期も残り1ヶ月となり、「早寝、早起き、朝ごはん」を合言葉に、規則正しい日常生活を送ってほしいと思っております。

西陵中学校区の人権フォーラムが開催されました。

12月2日(月)午後、西陵中学校に小山田小、水沢小の6年生が集まり、中学校区人権フォーラムが行われました。小山田小、水沢小の6年生は、1台のバスでそれぞれの学校を行き来し送迎してもらいました。

体育館では3校の児童生徒が分かれ、あらかじめ決められた4~5人のグループになって座りました。最初にアイスブレイキングをした後、本日のテーマ「いじりといじめについてどう考えるか?」について、ショートアニメーションの動画を見た後、タブレットを使って意見を述べあいました。①「嫌だけど嫌と言えないのはなぜか?」②「あなたの友だちで登場人物のような思いをした人がいたらどうするか?」の2つについて順番に意見を述べあいました。



今回のように、多くの人の考えを聞き、自分の考えを整理することはとても大切なことです。中学校の先生がまとめの話の中で、「小学校6年生の子たちは、中学校1年生の先輩たちが話している時に、うなずいて聞いている子がいて、そういった態度が人権を大切にするんですよ」と、話してくれました。本校の6年生も、今回の交流学習で何らかの影響を受けてきているようでした。

(文責 北住 昌文)